

発行日：平成25年11月18日

## 第58回全国野菜園芸技術研究会茨城大会開催される

7月29日（月）～30日（火）の2日間、水戸プラザホテルにおいて、全国から500名を超える野菜園芸農家や関係機関、園芸資材・機器メーカーの担当者等を迎えて、「未来につなぐ魅力ある施設野菜園芸をめざして」を大会テーマに開催されました。

開会にあたり、主催者を代表して、青木安治茨城大会実行委員長（茨城県施設園芸研究会々長）、大山寛全国野菜園芸技術研究会長からの挨拶に続き、開催県を代表して、橋本昌茨城県知事、加倉井豊邦 J A茨城県中央会会長から歓迎の挨拶、来賓を代表して、西郷正道農林水産省大臣官房生産振興審議官から挨拶をいただきました。

全野研総会の経過報告、功労者等表彰に続き、大会の基調講演に、(独法)農研機構野菜茶業研究所 中野明正上席研究員から「若手生産者が魅力を感じる最先端技術導入による儲かる施設園芸」、特別講演として、渡辺和彦東京農業大学客員教授から「施肥による病害抑制と人間の健康増進～儲かる施設園芸の実現を目指して～」と題して、講演をいただきました。



大会1日目の締めくくりとして、参加者を代表し、茨城県施設園芸研究会 渡辺澄夫氏より、力強く大会決議及びスローガンが読み上げられ、満場一致で決議されました。

全国から参加された皆さんへの歓迎の意を込めて、本県を代表する郷土芸能である「磯節」の披露や交流会においては、本県産の農産物をふんだんに使った料理や地酒などを提供し、「いばらきの文化や食の豊さ」を満喫してもらいました。

大会2日目は、トマト、きゅうりの2つの分科会に分かれ、「若手生産者が魅力を感じる儲かる施設園芸の実践」をテーマに、吉久保憲章さん（北茨城市）、伊藤健さん（鉾田市）、柴崎茂雄さん（石岡市）を含め、それぞれ4名の生産者の皆さんから事例発表をもらって、活発な事例研究が行われました。



2日間の大会を通じて、技術や情報の交換、交流が活発に行われ、施設野菜園芸農家の皆さんが「儲かる施設野菜園芸」を目指し、「後継者が残る魅力ある施設野菜園芸」の実践に向けて、関係者一丸となった機運が高まり、今後の施設野菜園芸の更なる発展が期待できる大会となりました。

## 全国クリ研究会 in 茨城県を開催！

全国果樹研究連合会は、茨城県くり生産者連絡協議会との共催により、8月8～9日、茨城県つくば市のホテルグランド東雲において、「全国クリ研究会 in 茨城県」を開催し、全国の栗産地から約80名の生産者、関係者が参加しました。

茨城県からの参加者は、開催県そして栗生産全国1位を念頭において、各県参加者がこの研究会で得るものが多いよう、そして県のイメージアップをと心がけた対応でした。

1日目は、講演・検討会が行われました。主催者である全国果樹研究連合会クリ専門部会長・茨城県くり生産者連絡協議会長の川上会長の挨拶に始まり、開催県を代表して茨城県農林水産部の宮本次長より歓迎の挨拶がありました。



川上会長あいさつ

講演は、(独)農研機構果樹研究所の齋藤上席研究員より「栗の品種動向と育種の現状と展望」、続いて茨城中央農協6次産業対策課の山口課長より「栗6次産業化の取り組み」について行われました。



続く検討会は、各県で持ち寄った栗加工品の展示・試食の後、川上会長が座長となり「栗加工と経営安定対策」をテーマに意見交換が行われました。検討会では、高品質な栗作りを基本とし、食品業者、消費者が取扱いやすい剥き栗・ペースト・粉などへの一次加工の必要性、さらに、産地と企業の連携で栗産業を維持していくなどの意見が出された。

2日目は、下飯沼栗組合の栗くん蒸施設、茨城中央農協の栗選果施設及び本年度より稼働が始まった栗加工施設を研修しました。参加者からは、それぞれプロの目で核心に触れた質問・応答が繰広げられました。

また、夜の交流会では、栗焼酎も堪能し栗生産同士、本音でにぎやかな情報交換となりました。

# ‘売りたい’ と ‘買いたい’ を結びつける 茨城県農産物マッチングサイト

近年、農産物の流通や消費形態が多様化しており、消費者、実需者の個々のニーズに対応した農業生産、農業経営が求められています。農業経営や産地の発展には、そのような状況に対応した、契約取引や戦略的な商品開発など新たな取り組みが必要になっています。

そこで当協会では、県から委託を受け、農業者の皆さんの‘売りたい’と実需者の皆さんの‘買いたい’を結び付け、新たな取引に役立てていただけるように、‘茨城県農産物マッチングサイト’を24年度から開設しています。

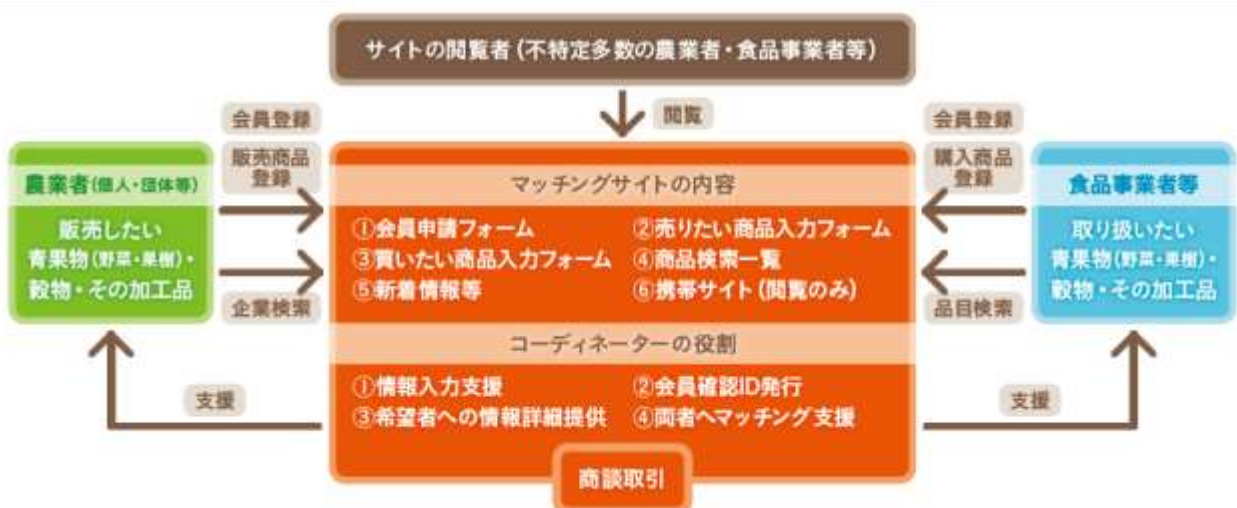
このサイトは、会員の皆さんの‘売りたい’と‘買いたい’の情報を公開、お互いのニーズを「見える化」して、協会のコーディネーターが間に入って、新たな取引に向けた‘マッチング’のサポートとともに、新たな情報の収集やニーズの掘り起こしなど、手厚くフォローアップさせていただきます。

9月26日現在、会員登録件数 155件(うち農業者111件、県内外食品事業者等44件)、商品情報登録件数 95件(うち農業者関係75件、食品事業者等関係20件)で、順調に登録件数も増えています。

登録件数の増加とサイトの認知度が高まったことにより、契約取引の成立件数も増えています。開設当初は単発での取引や小規模な契約が中心でしたが、最近では大型、長期的な取引も徐々に増えており、茨城県農産物の良さを多くの実需者の皆さんに伝えるとともに、新たな需要、用途の開拓にもつながり、微力ながら農家経営、産地の発展にも寄与できています。

契約取引、マッチングサイトに興味がある方は、

サイトアドレス：[www.ibaraki-agrimatching.net](http://www.ibaraki-agrimatching.net) までアクセスするか、当協会、お近くの県農林事務所、地域農業改良普及センターまでお問い合わせ下さい。



## 農業用使用済みプラスチックを排出される皆様へ

# 使わなくなった農業用プラスチック（農ビ・農ポリなどは正しく処理しましょう！

農ビ、農ポリ、農POなどは施設園芸に欠かせない資材です。しかし、使わなくなった農ビや農ポリは「産業廃棄物」となり、農業者自らの責任で適正に処分することが義務付けられています。

今後の回収にあたりましては、以下の点にご留意いただき、本県の農業用使用済みプラスチック処理対策が、継続して行えるように排出される皆様のご協力をお願いいたします。

◆使わなくなった農ビや農ポリは「産業廃棄物」ですので、排出業者（農家）自らの責任で適正に処理するか、許可された収集運搬業者、処分業者に委託することが義務付けられています。

◆排出事業者（農家）が、市町村協議会等の収集を利用せず、処分業の許可を受けた業者に直接処分を委託する場合は、産業廃棄物管理表（マニフェスト）の発行、写しの回収、県知事への交付状況等の報告が義務付けられています。

◆不法投棄や野焼きへの罰則が強化され、5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金（法人は3億円以下の罰則）、または併科となります。

◆委託した業者が処理できなくなったり、不法投棄等を行った場合には、排出業者（農家）もその責任を負わされます。違法収集に十分ご注意ください。

☆ 園芸リサイクルセンターでは、市町村協議会等から委託を受け、農村環境の保全施設園芸の健全な発展の止め、農家から排出される使用済みプラスチックの回収と中間処理を行っています。

☆ 回収した「農ビ」は主に床材に、「農ポリ」はプラスチック製品の原料や発電用燃料としてリサイクルされています。

☆ 回収日時や場所など詳しいことは市町村協議会にお問い合わせください。

## J R水戸駅で本県農産物をPR！！

本県農産物の魅力を広く県民の皆さんにPRするため、JR東日本水戸支社、JR東日本リテールネット及び茨城県と連携して、JR水戸駅コンコースにおいて、6月1日から7日まで‘いばらきメロンまつり’、9月17日から23日まで‘いばらきオータムフェスティバル’を開催しました。

いばらきメロンまつりでは、茨城県メロン生産者連絡協議会、JAグループ茨城メロン流通部会から協力ももらって、「アンデス」や「クインシー」、「レノン」の他、県育成品種「イバラキング」の試食・販売を行いました。

いばらきオータムフェスティバルでは、茨城県梨組合連合会、かんしょ生産者連絡協議会、くり生産者連絡協議会、ぶどう連合会から協力ももらって、秋の味覚を広く味わってもらうため、梨「あきづき」、県育成品種「恵水」、くり、さつまいも「べにあずま」、ぶどう「巨峰」の販売を行いました。

県都の玄関口で、旬の農産物を販売、PRすることで、広く本県農産物のよさをPRできました。



## 「いばらき キラキラワンモアブレイク in 友部SA」 における梨販売促進活動

茨城県梨組合連合会研究部会の梨販売促進活動の一環として、昨年につき、常磐道友部サービスエリアにおいて、「あきづき」の試食・販売を行いました。

当日は昨年の悪天候から一転、好天に恵まれ、お客さんの関心も高く、販売開始前から販売を求められるほどの盛況ぶりでした。



試食・販売は、梨連研究部会員である、石岡支部の岡野さんご夫妻が行いました。試食では、甘い！瑞々しい！美味しい！など、非常に好評で、そのまま購入するお客さんも多く、用意していた約500個の「あきづき」は午後2時過ぎには完売しました。

販売中には、茨城ご当地ヒーロー「時空戦士イバライガー」のインタビューにも岡野さんの奥様がテキパキと対応し、販売ブースの雰囲気も盛り上がりました。

## 「茨城のさつまいも」サッカー場でPR

「さつまいもの日」(10月13日)を前にした9月28日、茨城県かんしょ生産者連絡協議会では、サッカーJ1鹿島アントラーズの本拠地・鹿嶋市のカシマサッカースタジアムで、県産のさつまいもをファンに無料で配り、消費拡大を呼び掛けました。

開場と同時に、同協議会員、県関係機関、JA全農いばらき、園芸いばらき振興協会の関係者ら27人が、小袋3本入りの「ベニアズマ」1500袋を配布。「茨城の大地で美味しく育ちました。ホクホクして甘いですよ」とPRしました。

家族連れで来場したサポーターは「さつまいもは色々な楽しみ方があり、美容と健康のうえでも良いと聞いているので、さっそく調理して食べたいと思います。ありがとうございます！！」などの声が聞かれました。



## 東京都のど真ん中「茨城マルシェ」で 本県産さつまいもをPR

茨城県かんしょ生産者連絡協議会は、県産さつまいものPRと消費宣伝を目的として、東京都銀座にある茨城県のアンテナショップ「茨城マルシェ」で、11月16日(土)～12月15日(日)の一か月間、茨城さつまいもフェアを実施します。

特に11月16日(土)～17日(日)の2日間は県はじめ関係機関の協力のもと、協議会会員、園芸いばらき振興協会による、焼き芋の試食とさつまいもの販売(焼き芋は、しっとり甘い品種「べにはるか」生いもの品種は「べにはるか」とホクホクおいしい「ベニアズマ」の2種類)を行います。

「茨城マルシェ」では12月15日まで焼き芋とさつまいもの販売を実施しますので、ぜひ！お越しください！！



## 茨城県くり生産者連絡協議会が種々メディアで栗PR

栗は、秋になるとテレビ等のメディアに注目され、茨城県は日本一の生産量のことからメディアに取り上げられることが多くなっています。

これまで、テレビ埼玉の情報番組へ3カ年連続で川上会長等が出演し、各テレビのバラエティ番組等へは女性の生産者が出演するなどしています。

また、当協議会HPを見ての新聞、ラジオの取材や掲載情報がメルマガ等で紹介されるなどしています。今年度は、新たな取組でTXの車内広告を行いました。

消費者からの反応は一朝一夕には行きませんが、今後も機会を捉え積極的に茨城産栗のPRに取り組んでいきます。



## いばらき県オリジナル梨新品種「恵水」苗木の販売

茨城県オリジナル梨新品種「恵水」は、茨城県から茨城県梨組合連合会が許諾を受け、今年度の秋から春に注文をいただいた本数をもとに、茨城県果樹苗木生産協議会にお願いをして、苗木の生産を行っています。今年度の発注分については、12月中旬から順次配布を予定しています。

本年度は茨城県梨組合連合会研究部会が、農業総合センターの「恵水」プロジェクトチームと連携して、現地試験、試験販売を行いました。試験販売では、消費者の皆さんから「甘い」と大変好評でした。

品種特性としては、茨城県園芸研究所の試験成果によると、

○9月上～下旬に収穫、大果で豊産性。(平均果重500～600g)

○糖度は13%以上と高い。

○甘味が強く、酸味が少ない。

○日持ちが良く貯蔵出荷が可能。

という特徴があります。

次年度も産地、農家の皆さんの要望に応じて、苗木の販売を予定しています。1月下旬頃から予約をとる予定です。詳しいお問い合わせは、当協会若しくはお近くのJA、農業改良普及センターまでお願いします。

# 県オリジナル品種の種苗を供給します！

## 園芸種苗センター

園芸種苗センターでは、県育成園芸品種の種苗を県内に供給し、産地づくりに貢献しています。特長ある県オリジナル品種を栽培してみませんか。

### ●イチゴ親株苗

「**ひたち姫**」酸味が少なく、甘みを強く感じる品種です。果実はやや軟らかく、サクサクとした食感で、やや長い果形が特徴です。

「**いばらキッス**」糖度が高く酸味とのバランスも良いため、味が濃く食味が優れます。適度な硬さでジューシーな食感も特徴です。

注文受付時期：1月、販売時期：2月末～3月中旬

販売規格：9cmポリポット苗



ひたち姫

### ●メロン種子・接木苗

「**イバラキング**」果実の肥大性が良い品種です。糖度が安定して高く、さわやかな甘さと滑らかな食感で、食味が優れる品種です。

販売時期：11月～翌1月末

販売規格：種子・100粒入小袋、接木苗・128穴セルトレイ



ひたち紅っこ

### ●赤ネギ種子




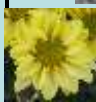
「**ひたち紅っこ**」鮮やかな赤紫色に発色する長ネギです。葉鞘が柔らかく、甘く食味が良い品種です。

販売時期：9月～翌3月末

販売規格：1dl入りポリ瓶、20ml小袋

### ●コギク親株

#### 「常陸シリーズ」9品種

	6月	7月	8月	9月
赤	 常陸サニールビー	常陸サマールビー		常陸オータムホワイト
白	常陸サニーホワイト 	常陸サマースノウ	 常陸オータムパール	 
黄	常陸サマーレモン	 常陸サマーゴールド		 常陸オータムレモン

茨城県農業総合センター資料

注文受付時期：8月～9月、販売時期：11月上旬

販売規格：堀上株、5株1口